

大西熊本市長の強烈寒波に伴う海苔養殖施設の被害現場視察

日 時：令和5年2月14日（火）

場 所：有明海熊本県沿岸海苔養殖漁場

参加者：熊本市

市 長	大西 一史 氏	
農水局長	大塚 裕一 氏	
水産振興センター所長	吉留 健士 氏	他 市職員

熊本市漁業振興協議会

会 長	槌田 榮一（海路口漁協長）
	藤森 隆美（川口漁協長、熊本県漁連代表理事会長）
	潮崎 武（河内漁協長）
	宮本 英治（松尾漁協長）
	吉本 勢治（小島漁協長・海苔専門検討委員長）
	井手 順雄（沖新漁協長）
	澤村 開朗（畠口漁協長）

令和5年1月24日の強烈寒波に伴う強風により過去に前例のないほどの被害を受けた本県海苔養殖漁場の実情や被災後の復旧状況、漁業者の実情と課題を確認・把握するため大西熊本市長が被害漁場を視察されました。

漁場では槌田協議会会長と共に藤森県漁連会長が被災漁業者を代表し「色落ちなど厳しい養殖環境に追い打ちをかける甚大な被害であったこと」「本年度の全国的な海苔の不作にあつて、漁業者は供給責任者と一枚でも多くの良質のノリをと最盛期の生産に集中したいが被災施設の復旧や摘採不能な施設の撤去等で肉体的にも精神的にも厳しい状況に置かれていること」「来季の海苔養殖への不安」など漁業者の現状と胸中を大西市長へ訴えられました。

大西市長から「海苔は熊本市の水産にあつて大きなウエイトを占めている、来期以降漁業者が安心して漁業が継続できるよう、市としてもできる限りのことはしたい、また県、国にも働きかけていきたい」と力強いお言葉を頂きました。

【説明及び意見交換風景（海上）】



